

上水道事業  
県道富士河口湖富士線配水本管布設工事(その2)

数 量 計 算 書

富 士 河 口 湖 町 水 道 課

# 配水管材料集計表

名 称	規 格	単位	数量	L	切管						単位 延長	延長 単位:m	摘 要
配水管布設工 HPPE φ 75 L=64.60m,SGP-VD 50A L=0.13m(0.77m)													
(管 材)													
水道配水管用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 75×L5000	本	12	12							5.000	60.000	
水道配水管用ポリエチレン管 直管	ブレーンエンド φ 75×L5000	本	1		1						5.000	3.030	
水道配水管用ポリエチレン管 EFソケット	φ 75	個	1	1							-	-	
水道配水管用ポリエチレン管 EF両受ベンド	φ 75×45°	個	1	1							0.376	0.376	
水道配水管用ポリエチレン管 EF片受ベンド	φ 75×45°	個	1	1							0.478	0.478	
水道配水管用ポリエチレン管 EFフランジ	水道形FCDフランジGF形 φ 75	個	1	1							0.148	0.148	
水道配水管用ポリエチレン管 フランジ	水道形FCDフランジGF形 φ 75	個	1	1							0.265	0.265	
ソフトシール仕切弁付 不断水割T字管	DIP用 φ 150× φ 75	基	1	1							0.302	0.302	
制水弁管	ねじ式弁管 φ 75 DP=1200用	基	1	1							-	-	
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 直管	SGP-VD 50A×L4000	本	1		1						4.000	0.600	
水道用ねじ込み式管端防食管継手 エルボ	50A	個	1	1							0.072	0.072	
水道用ねじ込み式管端防食管継手 ニップル	50A	個	1	1							0.067	0.067	
ねじ込み式フランジ	上水規格、コート φ 75× φ 50	個	1	1							0.030	0.030	
排泥弁	回転エルボ付クローム 50A×90°	基	1	1									
排泥弁室	内径 φ 384 DP=1200用	組	1	1							-	-	
フランジ接合材	GF ボルト・ナット・パッキン φ 75	枚	2	2									
埋設シート	W=150(ダブル折込)	m	64.5	64.60	0.13					-0.25	-	-	平面延長-弁管
管明示テープ	天端 W=30	m	64.7	64.60	0.13						-	-	実延長
胴巻きテープ	19mm	m	22.1	$0.09 \times \pi \times 1.5 \times 4 \div 5 \times 64.60$ $+0.06 \times \pi \times 1.5 \times 3 \div 4 \times 0.77$							-	-	
ロケーティングワイヤー	φ 4.4	m	71.1	64.60×1.1									実延長×1.1
												64.599 0.769	HPPE SGP-VD

## HPPE φ75 プレーンエンド 切 管 調 書

[illegible]

## SGP-VD 50A 切 管 調 書

[illegible]

## 配水管勞務集計表

[illegible]

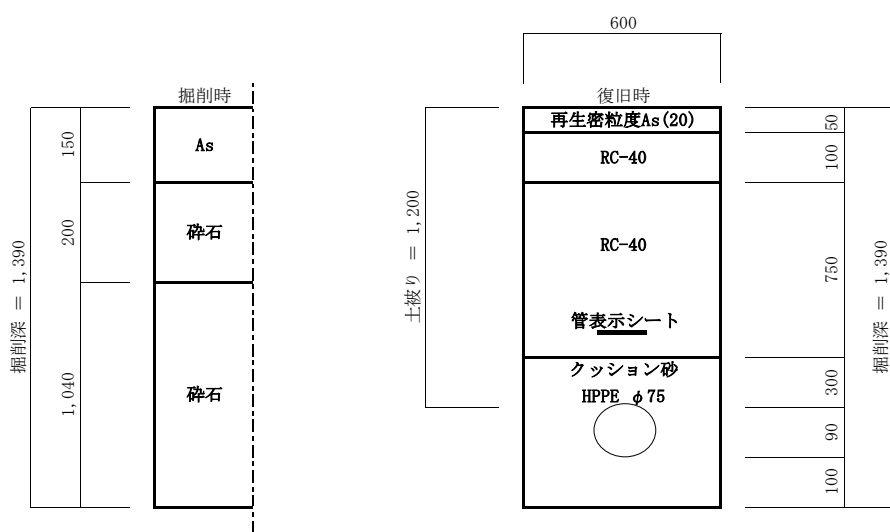
### 配水管土工延長集計表

[illegible]



土工計算書

県道車道部

HPPE  $\phi$  75

土 工 事		
管種	口径	外径
HPPE	φ 75	0.09 m
延長(变更后)	L=	m
延長(变更前)	L=	9.73 m
切断本数	C=	2 本
掘削幅	W=	0.60 m
土被り	D、P=	1.20 m
舗装厚(上層)	t=	0.05 m
舗装厚(下層)	t=	m
路盤厚(上層)	t=	0.10 m
路盤厚(下層)	t=	m
管上砂厚	t=	0.30 m
管底砂厚	t=	0.10 m
影響幅	t=	

既設舗装構成		
既設舗装厚	t=	0.15 m
既設路盤厚	t=	0.20 m

土留め工		
	t=	m

※上段は変更後数量及び変更計算式

※小数点以下第3位四捨五入第2位止め

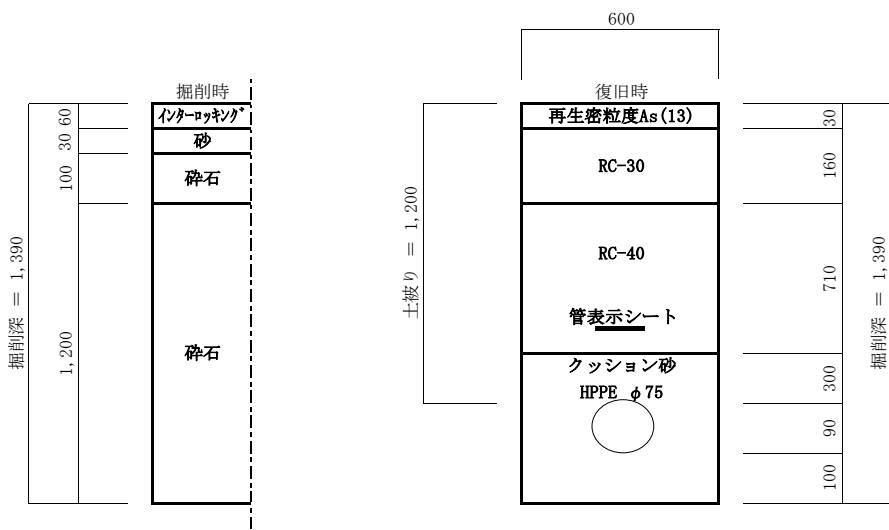
[illegible]





# 土工計算書

県道歩道部

HPPE  $\phi$  75

土 工 事		
管種	口径	外径
HPPE	φ75	0.09 m
延長(変更後)	L=	m
延長(変更前)	L=	33.06 m
切断本数	C=	2 本
掘削幅	W=	0.60 m
土被り	D. P=	1.20 m
舗装厚(上層)	t=	0.03 m
舗装厚(下層)	t=	m
路盤厚(上層)	t=	0.16 m
路盤厚(下層)	t=	m
管上砂厚	t=	0.30 m
管底砂厚	t=	0.10 m
影響幅	t=	

既設舗装構成		
既設舗装厚	t=	0.06 m
既設砂厚	t=	0.03 m
既設路盤厚	t=	0.10 m

土留め工		
	t=	m

※上段は変更後数量及び変更計算式

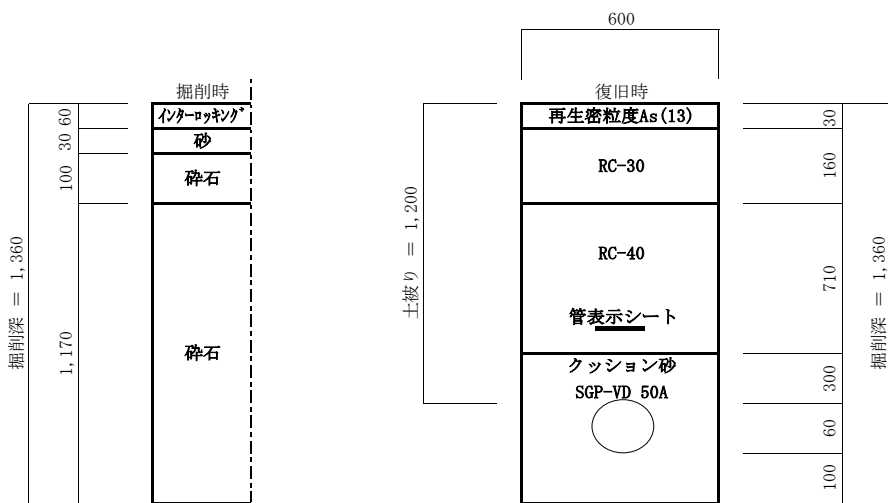
※小数点以下第3位四捨五入第2位止め

[illegible]

# 土工計算書

県道歩道部

SGP-VD 50A



土 工 事		
管種	口径	外径
SGP-VD	50A	0.06 m
延長(変更後)	L=	m
延長(変更前)	L=	0.13 m
切断本数	C=	2 本
掘削幅	W=	0.60 m
土被り	D. P=	1.20 m
舗装厚(上層)	t=	0.03 m
舗装厚(下層)	t=	m
路盤厚(上層)	t=	0.16 m
路盤厚(下層)	t=	m
管上砂厚	t=	0.30 m
管底砂厚	t=	0.10 m
影響幅	t=	

既設舗装構成		
既設舗装厚	t=	0.06 m
既設砂厚	t=	0.03 m
既設路盤厚	t=	0.10 m

土留め工		
	t=	m

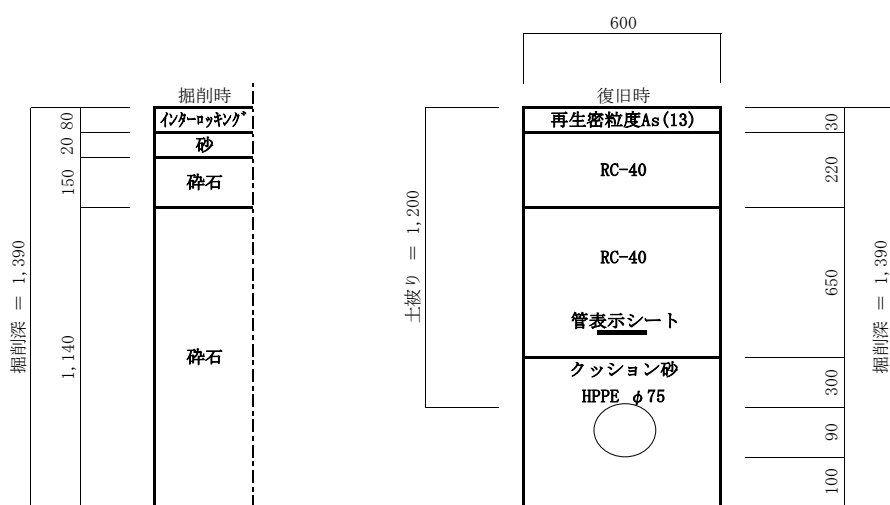
※上段は変更後数量及び変更計算式

※小数点以下第3位四捨五入第2位止め

[illegible]

土工計算書

県道歩道乗り入れ部  
HPPE φ75



土 工 事		
管種	口径	外径
HPPE	φ 75	0.09 m
延長(変更後)	L=	m
延長(変更前)	L=	19.81 m
切断本数	C=	2 本
掘削幅	W=	0.60 m
土被り	D. P=	1.20 m
舗装厚(上層)	t=	0.03 m
舗装厚(下層)	t=	m
路盤厚(上層)	t=	0.22 m
路盤厚(下層)	t=	m
管上砂厚	t=	0.30 m
管底砂厚	t=	0.10 m
影響幅	t=	m

既設舗装構成		
既設舗装厚	t=	0.08 m
既設砂厚	t=	0.02 m
既設路盤厚	t=	0.15 m

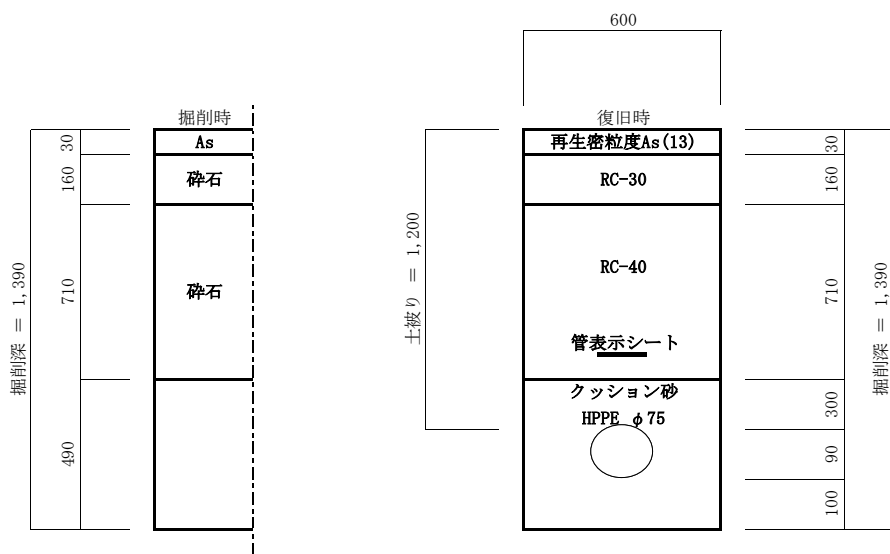
土留め工		
	t=	m

※上段は変更後数量及び変更計算式  
※小数点以下第3位四捨五入第2位止め

[illegible]

土工計算書

県道歩道部(再掘削)  
HPPE φ 75



土 工 事		
管種	口径	外径
HPPE	φ 75	0.09 m
箇所(変更後)	L=	箇所
箇所(変更前)	L=	3 箇所
切断本数	C=	本
掘削幅	W=	0.60 m
再掘削長	L=	1.00 m
露出延長	L=	0.50 m
土被り	D、P=	1.20 m
舗装厚(上層)	t=	0.03 m
舗装厚(下層)	t=	m
路盤厚(上層)	t=	0.16 m
路盤厚(下層)	t=	m
管上砂厚	t=	0.30 m
管底砂厚	t=	0.10 m
影響幅	t=	

既設舗装構成		
既設舗装厚	t=	0.03 m
既設路盤厚	t=	0.16 m

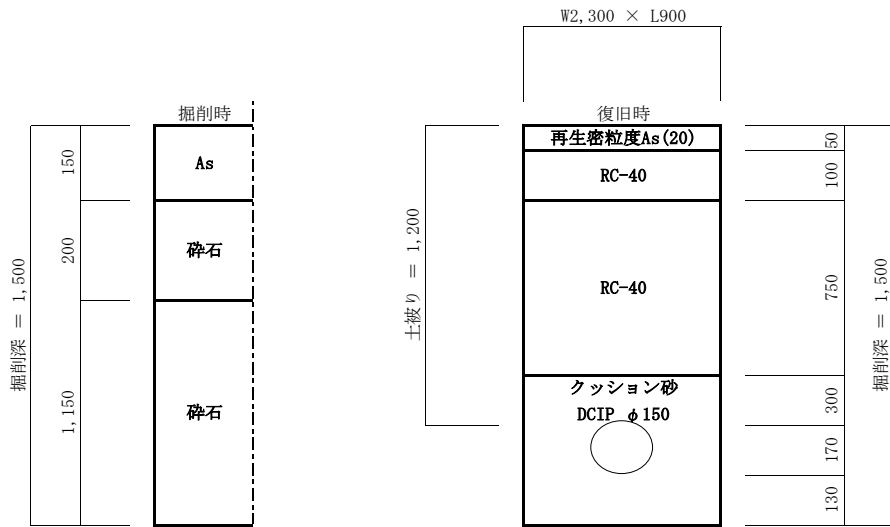
土留め工		
	t=	m

※上段は変更後数量及び変更計算式  
※小数点以下第3位四捨五入第2位止め

[illegible]

# 土工計算書

県道車道部(試掘)  
W2.30m×L0.90m



土 工 事		
管種	口径	外径
DCIP	φ150	0.17 m
箇所(変更後)	L=	箇所
箇所(変更前)	L=	1.00 箇所
切断本数	C=	2 本
掘削幅	W=	2.30 m
掘削長	L=	0.90 m
土被り	D.P=	1.20 m
舗装厚(上層)	t=	0.05 m
舗装厚(下層)	t=	m
路盤厚(上層)	t=	0.10 m
路盤厚(下層)	t=	m
管上砂厚	t=	0.30 m
管底砂厚	t=	0.13 m
影響幅	t=	m

既設舗装構成		
既設舗装厚	t=	0.15 m
既設路盤厚	t=	0.20 m

土留め工		
木矢板	t=	m

※上段は変更後数量及び変更計算式  
※小数点以下第3位四捨五入第2位止め

名	称	計	算	式	数	量
土 工 事	舗装版切断工	As t=15cm以下	(2.30 + 0.90) × 2 × 1箇所	=	6.400	6.40 m
	舗装版掘削積込工	バックホ0.28m <sup>3</sup> As t=10cmを超え15cm以下	2.30 × 0.90 × 1箇所	=	2.070	2.07 m <sup>2</sup>
	機械掘削積込工	バックホ0.28m <sup>3</sup> 機械力 t=135cm	2.30 × 0.90 × 1.35 × 1箇所	=	2.794	2.79 m <sup>3</sup>
	機械埋戻工	バックホ0.28m <sup>3</sup> クッション砂 t=60cm	(2.30 × 0.60 - π/4 × 0.17 <sup>2</sup> ) × 0.90 × 1箇所	=	1.221	1.22 m <sup>3</sup>
	機械埋戻工	RC-40 t=75cm	2.30 × 0.90 × 0.75 × 1箇所	=	1.552	1.55 m <sup>3</sup>
	路盤工	施工幅1.8m未満 1回転圧	2.30 × 0.90 × 1箇所	=	2.070	2.07 m <sup>2</sup>
	アスファルト舗装工	人力施工 車道 プライムコート 再生密粒度As(20) t=5cm	2.30 × 0.90 × 1箇所	=	2.070	2.07 m <sup>2</sup>
	残土処理工	4t車 DID無し 土砂	2.794	=	2.794	2.79 m <sup>3</sup>
	残土処理工	4t車 DID無し As塊	2.30 × 0.90 × 0.15 × 1箇所	=	0.310	0.31 m <sup>3</sup>
	建設廃材処分費	As塊	2.30 × 0.90 × 0.15 × 1箇所	=	0.310	0.31 m <sup>3</sup>
	アスファルト舗装版 濁水処理工		0.023 × 0.15 × 6.40	=	0.022	0.02 m <sup>3</sup>

## 交通誘導員の算定【昼間工事】

工種	種別・規格	設計数量		日施工量の計算			交通誘導員配置数 ⑤	交通誘導員数 ④×⑤
		必要数量の計上 ①	単位	歩掛 ②	日施工量 ③	必要日数 ④(①/③)		
舗装切断工	As舗装版 t=15cm以下	33.86	m	230	230	0.15	2	0.30
アスファルト舗装工	人力施工 車道 フライムコート 再生密粒度As(20) t=5cm	11.42	m <sup>2</sup>	250	250	0.05	3	0.15
アスファルト舗装工	人力施工 歩道 フライムコート 再生密粒度As(13) t=3cm	33.61	m <sup>2</sup>	250	250	0.13	3	0.39
ポリエチレン管布設工	φ75	64.60	m	20	20	2.48	3	7.44
鋼管布設据付工	人力 50A	0.77	m	20	20	0.03	3	0.09
その他	不断水分岐工事(1箇所×3人)							3.00
その他	起点T字路部(2箇所×1人)							2.00
※ φ75及び50Aの管布設工の日進量は20m/日とし、1.3で除する。								
合計								13.37 14
交通誘導員数							14	人